

平成30年9月の災害（北海道胆振東部地震）の 影響と観光の現状について

平成30年9月21日
公益社団法人 北海道観光振興機構
会長 堰八 義博

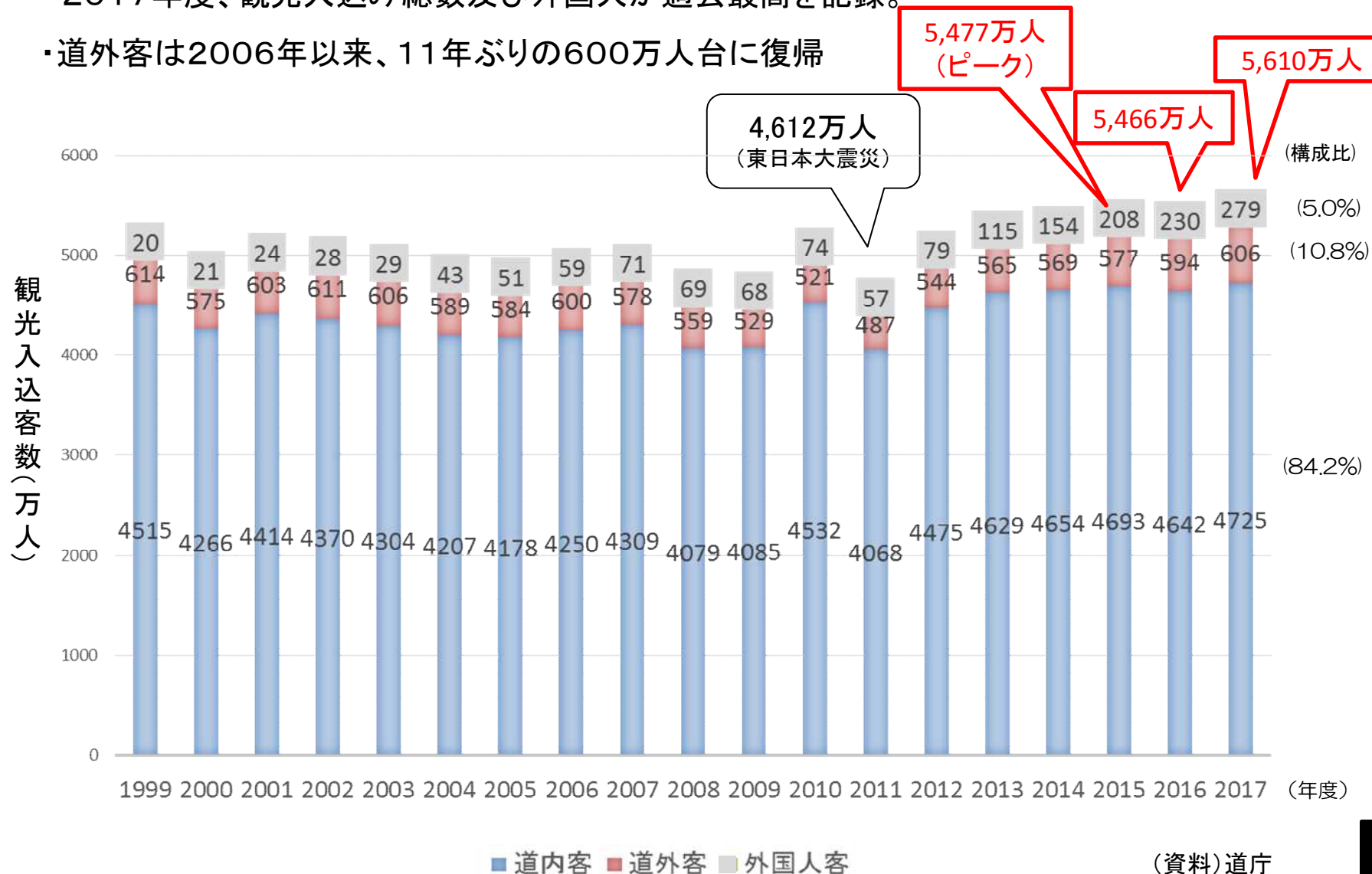


北海道観光PRキャラクター
キュンちゃん

■北海道の観光入込客数の推移(実人数)



- ・ビザ発給要件の緩和、円安、景気の回復などにより、国内外の観光需要が増大し、2017年度、観光入込み総数及び外国人が過去最高を記録。
- ・道外客は2006年以来、11年ぶりの600万人台に復帰



(資料)道庁



平成30年9月15日公表

1. キャンセルの状況【観光被害対策連絡会調】

	キャンセル数	影響額
宿泊施設	942千人泊	11,725百万円
観光・体験施設	69千人	250百万円
フェリー・遊覧船	22千人	40百万円
観光バス	4千台	374百万円

【観光被害対策連絡会構成員】

北海道ホテル旅館業連絡協議会、北海道バス協会、北海道地区レンタカー協会連合会、北海道索道協会、北海道ゴルフ場支配人会、北海道旅客船協会、北海道体験観光推進協議会、北海道観光振興機構、北海道

2. 観光消費影響額の推計【北海道経済部観光局】

宿泊施設のキャンセル数をもとに、交通費や飲食・土産物消費などを含めた、観光消費の影響額を推計すると約292億円となる

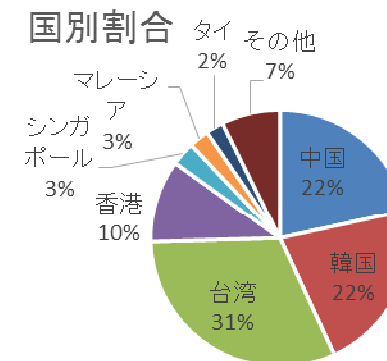
外国人観光客避難受入



1. 外国人観光客(平成29年9月)

	全道	うち札幌市
宿泊客数	367,903人	148,603人
宿泊客延数	415,015人泊	172,643人泊

平成29年度北海道観光入込客数調査報告書【道庁】



(平成29年9月現在、全道ベース)

2. 観光客向け避難所の開設

施設名	開設期間	宿泊者数					備考
		6日(木)	7日(金)	8日(土)	9日(日)	合計	
わくわくホリデーホール	6日(木)13:30～6日(木)15:00	-	-	-	-	-	閉鎖時点の避難者は市民交流プラザへ移動
大通高校	6日(木)14:00～8日(土)15:00	400人	220人	-	-	620人	閉鎖時点の避難者は中島体育センターに移動
市民交流プラザ	6日(木)16:00～8日(土)12:00	550人	130人	-	-	680人	
北海道庁別館	6日(木)17:30～8日(土)9:00	400人	140人	-	-	540人	
中島体育センター	6日(木)18:50～9日(日)10:00	300人	320人	30人	-	650人	
地下歩行空間	6日(木)20:45～9日(日)11:00	70人	250人	30人	-	350人	
合計		1,720人	1,060人	60人	-	2,840人	

<札幌市提供資料より作成>



<航空路線>

新千歳空港国際線、9/8(土)から再開(9/6~7閉鎖)

平成30年9月航空便数				
空港	国	都市名	週運航数	月運航数
新千歳	ロシア	ユジノサハリンスク	4	16
	韓国	ソウル	51	204
		大邱	7	28
		釜山	13	52
	中国	北京	7	28
		南京	5	20
		上海	21	84
		杭州	2	8
	台湾	台北	28	112
		高雄	7	28
		香港	14	56
	アメリカ	ホノルル	3	12
	タイ	バンコク	12	48
	マレーシア	クアラルンプール	3	12
	シンガポール	シンガポール	4	16
小計			183	732
函館	台湾	台北	7	28
旭川	台湾	台北	2	4
合計			192	764

<主な欠航路線>

- ・エアプサン(新千歳~大邱線)9/11~20欠航
- ・イースター航空(新千歳~釜山)9/13~20欠航
- ・ティーウェイ航空(新千歳~ソウル)欠航中
(再開不明)

<新規就航の延期>

- ・フィリピン航空(新千歳~マニラ、週3便)
9/10新規就航⇒10/8就航に変更
- ・イースター航空(新千歳~韓国・清州、週2便)
9/20新規就航⇒10/18就航に変更

(以上北海道観光振興機構調べ)

<就航状況(9/11~9/30)>

就航予定 553便 欠航 68便 欠航率12.3%
(新千歳空港調べ)

<JR>

北海道新幹線及び主要幹線については、一部を除き通常どおり運行
(震災前の運行路線については、9/26(水)までに全て運行再開)



■主要観光地

道内ほぼ全ての観光地において通常営業中

■飲食店・コンビニ

一部の商品の不足も解消しつつあり、道内ほぼ全ての地域で、通常どおり営業中

■電気

9月19日、苫東厚真火力発電所1号機が13日ぶりに再稼働し、需要1割減を目指していた節電要請も、再稼働と同時に解除

■水道・ガス

被災地の一部を除き、ほぼ全ての地域で支障なく使用が可能



<情報発信>

- 交通機関の最新情報を確認できるよう、9月7日、観光機構HP「Good・Day 北海道」のトップページに、旅の交通情報のリンクページを設置(日本語、英語、繁体、簡体、韓国、タイ、インドネシア)

平成30年度北海道胆振東部地震で被害を受けられた皆様には、お見舞い申し上げます。
北海道への観光旅行を予定されている皆様におかれましては、航空機・JR・バス等の
交通機関が運休となるなど支障が生じております。
こちらのウェブページで、交通機関の最新情報などをご確認いただきますようお願いいたします。【北海道
旅の安全情報】

<http://safety-travel.jp/>

The latest traffic information of hokkaido is introduced on this website

<http://safety-travel.jp/>

- 観光に関する「知事メッセージ(9/18付)」の活用
- ツーリズムEXPOジャパン2018(9/20(木)~23(日)、東京ビックサイト)でのPR活動

<今後の予定(足元対策)>

■国内向け

- ① 「北海道は元気です！」など動画によるPR活動
- ② 需要喚起のための観光商品の創設

■海外向け

- ① 観光客の不安を払拭し来道促進を図るため、動画を作成し正確な情報を発信
- ② 道内招聘事業により、インバウンドの立場での正確な情報発信
- ③ 道や関係機関と協調し、韓国、中国、台湾といったアジア主要国において、安全や道の魅力を発信する
トップセールスの実施



1. 風評被害の未然防止に向けた情報発信等

風評被害等による本道の観光関連産業への影響を払しょくするため、国内はもとより海外に対しても正確な情報を発信し、風評被害の未然防止に取り組んでいただきたい。

2. 観光事業者や関連中小企業者に対する支援

宿泊施設の予約キャンセル等、企業経営に多大な影響が生じていることから、国内外の旅行需要を喚起する支援制度の導入や誘客キャンペーン、地場製品の魅力発信、経営安定に向けた各種支援策の迅速な実施など、総合的な支援をお願いしたい。